



# ローカル線でいわて旅♪

岩手県には、地域のさまざまな魅力が詰まった多くのローカル線があることをご存じですか。  
いつもと違った車窓から眺めるいわての景色で、素敵な旅を満喫しましょう。  
今回は、北上駅と横手駅をつなぐJR北上線と、花巻駅と釜石駅をつなぐJR釜石線を紹介します。



2023.9  
**JR北上線**

2023.9  
**JR釜石線**

## 車窓から広がる風景に感激！ 温泉やアクティビティを楽しもう！

のどかな田園風景、<sup>とうとう</sup>滔々と流れる和賀川、豊かな実をつけたぶどう畑、美しい自然が彩る錦秋湖。JR北上線は、移り変わる車窓の景色が美しく、四季折々で多彩な表情を見せてくれます。駅の楽しみ方はいろいろありますが、西和賀町の「ほっとゆだ駅」は、全国でも例を見ない温泉付きの駅舎です。また、駅から徒歩5分圏内に錦秋湖の絶景を見られるカフェなどがあり、湖上ではカヤック体験を楽しむことも。豊かな自然の中、北上線の旅を楽しんでみませんか。

西和賀町の観光情報はこちら▶



## 宮沢賢治に思いを馳せながら、 駅を起点にまちの魅力を楽しむ！

JR釜石線は、その前身である岩手<sup>けいべん</sup>軽便鉄道が宮沢賢治作の「銀河鉄道の夜」のモデルとも言われることから「銀河ドリームライン釜石線」の愛称で親しまれ、全24駅にもエスペラント語の愛称が付いています。花巻では賢治の作品の世界に思いを馳せ、住田では荘厳な滝<sup>ろうかんとう</sup>観洞で洞窟体験、遠野ではレンタサイクルで民話の里巡り、釜石では海沿いの魚河岸テラスで地元食材の料理を満喫するなど、楽しみ方もいろいろ。今しか出会えない景色や味わいが、あなたを待っています。

※エスペラント語とは、19世紀に提唱された国際共通語。宮沢賢治も学んでいる。

釜石市の観光情報はこちら▶

